

法人NEWS

# せんだい、

1

2026.January

vol.153

通算584号

[www.hojin-kai.jp](http://www.hojin-kai.jp)

70<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY  
仙台中法人会

## 創立70周年特別号



## CONTENTS

## 法人会の「理念」

## 法人会は税のオピニオンリーダーとして 企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し 国と社会の繁栄に貢献する 経営者の団体です

仙台中法人会は、1955（昭和30）年、市内42社の参画を得て創立し、このたび70年を迎えました。

戦後の混乱した社会経済情勢の中、それまでの賦課徴収の税制から、自らの所得を自ら記帳・申告する「民主的な自主申告納税制度」へと大きな転換が図られたことに対応し、企業が相集い、自主的に法人会を結成して誕生しました。

この間、企業自らが税法と経理知識の研鑽の場として機能するとともに、納税道義を高め、民主的な税務行政の実現に寄与する歴史を重ねてきました。

同時に、企業納税者の団体として、一貫して「公平・公正」な税制の実現を目指し、創立以来、政府や国会に対する要望を重ね、その多くが実現をみてきております。

さらには、税の使い道である国の歳出や地方行政の経費も監視しつつ、行財政改革の断行を

求める意見活動も続けてきております。

税は国家の「礎」であり、法人会が果たしてきた社会的意義は決して小さなものではないと自負するとともに、企業納税者団体としての誇りを持って活動を続けて参りました。

また、仙台中法人会は2013（平成25年）に、新たな公益法人制度の下で、公益社団法人としての認定を受け、より高い公益活動を通じ社会的信頼を得る団体へと進化を遂げました。

公益社団法人として国から認可を受けて以降は、社会的評価のある団体として、納税できる企業づくりに役立つよう、企業の収益確保に貢献する人材育成や、経営力を高めることに寄与するとともに、会員企業が連携・協同して地域活性化にも取り組んで参りました。

価値観が多様化してきている時代にあって、行政や一企業では達成に限界がある領域

で、活力ある社会づくりに努めております。

仙台中法人会は、企業や地域から「尊ばれる団体」「なくてはならない団体」「みんなの団体」を目指した事業活動に専心して展開するよう努めていくことを基本に掲げています。それが仙台中法人会です。

今後も、企業が収益を確保し、働く社員の雇用が確保され、社員や家族の生活の質を高め、さらには企業からの納税が「税」本来の「富の再分配機能」を果たして豊かな国民生活に貢献していくことに寄与して参ります。

日本の将来を制約する課題は数多くありますが、仙台中法人会は理念に刻んだ事業領域と使命をもとに、新たな歴史を刻んで参ります。

創立70周年を迎えるにあたり、仙台中法人会のさらなる発展のため、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 03 巻頭言  
未来につなぐ法人会の力
- 04 70周年インタビュー  
仙台中法人会 会長 松坂 卓夫  
仙台中税務署 署長 丹野 昭  
仙台中法人会 筆頭副会長 高澤 雅哉  
仙台中法人会 青年部会 部会長 佐々木 政博  
仙台中法人会 女性部会 部会長 山本 琴枝  
仙台中法人会 経理研究会 会長 佐藤 良英  
仙台中法人会 経営者懇話会 会長 安達 裕明  
創立70周年事業特別委員会 委員長 伊藤 英実
- 12 お知らせ  
Photo Eye いま、中法人会は
- 14 令和7年度・8年度 役員名簿
- 15 美味探訪  
仙台国際ホテル レストラン「ロジェ ドール」
- 16 年譜  
仙台中法人会 70年のあゆみ
- 19 仙台中法人会 管轄エリア
- 20 インフォメーション  
指導者としての人の生かし方 CHECK 3つのポイント
- 22 インフォメーション  
若手社員を“強い部下”に育てる
- 31 Art to You 作品紹介  
「ちいさな火のロウソクとマッチ棒の見習いたち」



70TH  
INTERVIEW

# 丹野 昭

仙台中税務署 署長

仙台中法人会創立70周年に際し、心よりお祝いを申し上げます。会員の皆様方には、日頃より税務知識の普及と納税意識の高揚を目的に、税のオピニオンリーダーとして活動いただいております。特に、小学生を対象にした「租税教室」や「税に関する絵はがきコンクール」など、未来を担う子どもたちへの活動に熱心に取り組まれております。エコキャップの回収運動は、税務署内でも協力させていただきました。

現在国税庁では、庁としての使命を果たしていくため「税務行

政のデジタル・トランスフォーメーション——税務行政の将来像2023——（令和5年6月）を発表し「納税者の利便性の向上」「課税・徴収の効率化・高度化」そして「事業者のデジタル化促進」の3つの柱に基づき施策を進めています。

まず、利便性の向上として納税者が使い慣れたデジタルツールで簡単に手続きができる環境の構築を目指してまいります。最近ではスマートフォンで行う確定申告が認知され、利用が広がっています。

また、AIやデータ分析を用いて課税徴収事務の効率化、高度化を図ってまいります。

そして、税務を起点に事業者のデジタル化を進め、生産性の向上や経営の高度化を図ることで、取引先もデジタル化に繋げるといった好循環によって社会全体のDXが推進されていくことを期待しております。

税務の面ではe-Tax等による「キャッシュレス納付」の利用拡大に力を入れています。開始から約20年経った法人税の電子申告利用率は、現在約90%。でも、キャッシュレス利用率は45%程度です。源泉所得税納付利用率は27%ほど。キャッシュレス納付なら毎月金融機関に行かずに済むた

め、利用経験者からは非常に便利だと評価されていますが、それが広く伝わっていないわけです。

そこで、中法人会役員6名の方々にキャッシュレス納付推進モニターをお願いしました。内容は、2025年10月末から今年6月までの間、利用した「生の声」をフィードバックいただきながら、取引先の方々にもお勧めいただくというものです。このモニター制度は、仙台中税務署と中法人会独自の取り組みです。双方の長年の協力、信頼関係において実現できたものであり、これまでも、そしてこれからも法人会の果たす役割は非常に大きいと思っています。

貴会の80周年、90周年に向けたさらなるご発展をお祈りしながら、今後とも税務の良き理解者として、皆様にお力添えをお願いしたいと存じます。

仙台中税務署  
仙台市若林区卸町3-8-5  
TEL.022-783-7831 (代表)



70TH  
INTERVIEW

# 松坂 卓夫

仙台中法人会 会長  
松栄不動産株式会社 代表取締役社長

仙台中法人会は創立70周年を迎えました。私は父の代からお世話になり、入会して43年になります。変化の大きい時代を、仙台を代表する企業の先輩方や個性豊かな会員の皆さまと学び合い、交流しながら過ごしてきました。そしてこのたび歴代会長の後を継ぎ、第14代会長として就任いたしました。

会長に就任してすぐ、租税教室と「絵はがきコンクール」の選考に参加しました。どちらも青年部会・女性部会から活動報告として聞いてきましたが、現場を訪れるのは初めてでした。

租税教室では、小学生の目線に合わせた丁寧で工夫ある指導が行われており、改めて意義の深さを感じました。我々経営者が経営の力にすべく歳月をかけて学んだ税の知識を生かし、次世代の子どもたちに伝える役目を担っています。租税教室と運動する形で行われる「税に関する絵はがきコンクール」では、子どもたちの力作にこちらの思いが届いていることを実感しました。また「エコキャップ回収運動」では、発展途上国へのポリオワクチン支援に加え、環境問題にも貢献できています。

税のオピニオンリーダーとしての活動、そして社会に貢献する地道な取り組みを、今後はもっと広く発信していきたいと思っています。多くの会員の方々にぜひ積極的に参加していただきたい。誇りあるこの活動を機に、さらにご自身の地域への関わりを深める。そんなきっかけになるはずです。

70周年という記念の年に、改めて経営者にとって、多くの人に出会い、刺激を受けることの大切さを伝えたい。私は各団体や仕事を通じて全国の方々と交流する機会が多いのですが、大概にあふれ、活躍されている方

に共通するのは豊かなチャレンジ精神です。「最初から上手くいくわけではない。失敗してもあきらめず、再挑戦してこそ今があるんだ」との言葉には、人生の奥行きを感じます。

異なる価値観に触れたり、新しい活動に挑戦したりすることで、自分自身の活力が生まれ、それが所属する会にも良い影響を与えます。法人会の将来を担う青年部会の皆さんには、ぜひ積極的に経験を重ねてほしいと思います。

私自身も会長として、ますます元気に、楽しみながら法人会をより充実した組織に育てていきたいと考えています。70年の歴史を大切にしつつ、皆さんとともに新しい方向を切り開いていければ幸いです。



松栄不動産株式会社  
仙台市宮城野区榴岡1-2-8  
TEL.022-295-5080





70TH INTERVIEW

佐々木 政博

仙台中法人会青年部会 部会長  
株式会社エステート東日本 専務取締役

青年部会は今年設立44年目を迎えます。私が部会長として優先したいのは、長年培われてきた文化を守り、次世代に引き継ぐこと。  
中でも「3つのF」。フラットでフレンドリーでフランクな会ということに強みに、若い人たちに伝えていくつもりです。  
青年部会の主な活動に、小学生に税の大切さを伝える「租税教室」があります。エコキャップ回収は、ペットボトルのふたを回収して、売ったお金でポリオ



70TH INTERVIEW

高澤 雅哉

仙台中法人会 筆頭副会長  
仙南タクシー株式会社 代表取締役社長

入会したのは25歳。昭和62年のことで、青年部会では最年少でした。若手税務署員とのソフトボール大会や仙台七夕花火祭への出店など、イベントをきっかけに先輩方に溶け込むことができたのを思い出します。にぎやかな時代だったので、青年部会創立10周年の前年に「前年祭」があり、「ミス日本トークショー」のMCに抜擢されたことは忘れられない思い出です。  
積極的に関わるほど活動の範囲は広がり、全国の「中の会（名称に「中」がつく会）」を

はじめ、各地の法人会にも足を運ばせていただきました。税務署の方々から直接学べる勉強会や懇親の場も多く、税への理解がより深まったこと、また、各種研修会やセミナーで、冠婚葬祭のような一般教養からパソコン教室まで、社会人・経営者として必要なことを多く学び、大きな財産となりました。何より、異業種の方々との交流が仕事や人生にいい刺激を与えてくれました。  
30歳からの10年間は他団体に注力していましたが、そこでの組織運営や委員会活動に、中法人会で培ったノウハウを存分に生かすことができました。企業経営者として地域貢献に尽力する土台を築いてくれた中法人会の意義を実感した経験でした。  
「租税教室」は、私にとって新たな楽しみを見つけた活動です。講師の役割がとても面白く、毎年5校ほどを回りました。既存の台本に自分なりのアレンジを加え、黒板に描くキャラクターの似顔絵も会社で必死に練習。子どもたちに結構好評になり「講師のやり方を教えてほしい」と他の会員から言われたことや、受講した子どもから

ワクチンを買ひ、主にアフリカに送る活動です。CO2の削減など環境保全にも役立つため、環境授業として小学生に伝えていきます。この活動についてはもっと対外的にアピールしたい思いがあります。地道にコツコツ協力してくださる方々のやりがいにもつながるでしょうし、我々だけでなく世の中に広まっていいものだと思っています。  
また、会員同士の交流も数多くありますが、全国に440単位の青年部会の中でもユニークなのが「全国中の会」。30年ほど続く会で、年に1回、名前に「中」の付く全国6つの青年部会が集まります。おそらくこの会でしか出会えないような人同士の集まりで、だからこそ忌憚なく意見交換できる。再来年は仙台で開催するので、仙台独自の色を出して迎える準備を始めていきます。  
今後、会員増強がますます大事になっていきます。多くの人にぜひ法人会を経験してほしい。私自身、これまで話すこと



数年後に地域のお祭りでも声をかけられたこともありました。  
中法人会は、自分なりの楽しさややりがいを見つけて関われば、得られるものは本当に大きい会です。私自身は今、そうした自分の土台を築いてくれた中法人会へ恩返しのためにも活動が続けていきます。



仙南タクシー株式会社  
仙台市宮城野区日の出町1-6-27  
TEL.022-236-1072 (代表)



株式会社エステート東日本  
仙台市太白区長町4-7-30  
TEL.022-748-6520





70TH INTERVIEW

# 佐藤 良英

仙台中法人会経理研究会 会長  
北日本工業株式会社 業務部 部長

経理研究会は、昭和60年に設立、昨年11月に40周年を迎えました。設立にあたって、当時の仙台中税務署・長崎署長に「経営者だけでなく経理に携わる一般の社員の方が経理の勉強ができる場を」と提案いただいたと伺っております。全国の法人会の中でも珍しい組織だそうです。

活動としては、年に5回ほどいろいろなテーマでセミナーを開催しています。

仙台中税務署から講師をお招きしての税務セミナーでは、さまざまな変化に対応しな

ければならない経理業務において、インボイスやe-taxなど、税制や規制における最新の動向を学ぶことができました。ほかにも、中小企業では経理と兼務することの多い労働関係についてや、高校でも授業が始まった「投資信託」、超高齢化社会に対応した「民事信託」など、時勢に合わせてセミナーを開催。研究会のメンバーに限らず、多くの経営者の皆様にお役に立てるようなテーマ設定を意識しています。

また、地域社会貢献活動では入院中の子どもや、赤ちゃんの健診に来た母子へクリスマスプレゼントを贈るほか、子ども食堂の支援も行っています。

私自身は中法人会に入会して17年。4年前に経理研究会会長に就任しました。経理は守秘義務が発生するため、個別に具体的な相談をすることが難しい業務です。でも、担当者にとって情報交換や交流の場があることと自身が貴重であり、私も大変助かっています。社外の方々と関わりながら学びを深めたり、協力して社会貢献活動に関わっ

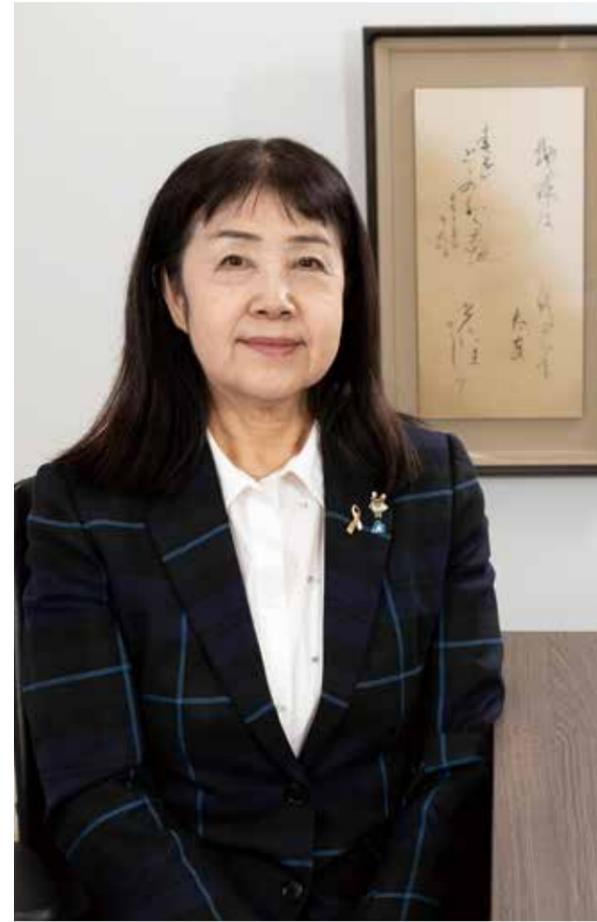


たりすることができます。まさに「人生が広がる」経験をさせていただいています。

70周年を迎えた中法人会の、バラエティに富んだ活動のひとつである経理研究会。企業や団体の間接部門で働く方々にとって、価値のある会であることは間違いなくと思います。

会の活動を継続し発展させていくためにも、ぜひ貴社の経理担当者にお声がけいただければと思います。

北日本工業株式会社  
仙台市若林区卸町1-5-3  
TEL.022-232-5694



70TH INTERVIEW

# 山本 琴枝

仙台中法人会女性部会 部会長  
宮城県法人会連合会 女性部会連絡協議会 会長  
有限会社ケー・ワイ不動産企画 代表取締役

仙台中法人会に入会してから6年ほどですが、仙台中法人会女性部会部会長、宮城県法人会連合会女性部会連絡協議会会長、そして全国法人会総連合女性部会連絡協議会副会長も務めています。最初は気軽に参加する気持ちでしたが、予想外の早さで重要な役割をいただき自分でも驚いています。

女性部会の主な活動のひとつに「税に関する絵はがきコンクール」があります。18回目を迎える今年からは、青年部会、経営者懇話会、経理研究会の代表の方々にも選考に加わっていただく

ようにしました。

温かさ、力強さにあふれた手描きの絵はがきが600枚ほど並ぶと、子どもたちに伝えてきた租税教室での学びが花開いているのを実感できます。表彰式で賞状を手にした子どもたちの輝く顔を見ると「また来年も頑張ろう」という気持ちになります。

最近取り組んでいるのが「食品ロス問題」。たとえば懇親会では「料理を残さないように」と一言添えたご挨拶をし、まずは身近な行動を変えていきます。「暮らし」をテーマにしているので、女性部会だからこそ伝わりやすく、共感が広がると思います。仕事と家のことを両輪で回す知恵や、悩みを共有できる場として、女性たちが自然体で活躍できる機会を少しでも多く作っていきたいと思います。

企業は地域を支える存在です。中法人会に入会したこと、小さい会社でも社会貢献できるという、税金への認識を新たにできました。租税教室で伝えていたことが、自分の中に落とし込めた感覚です。

税の話の後「税金の使い道を決める人たちを選ぶのは自分たちだ」と、選挙の話に繋がって



いきます。そうした私たち中法人会の活動の意義をもっとお伝えたいですね。

女性として、経営者として、自分を磨きながら社会貢献に携わっていく人を増やしたい。「数は力」なので、できるだけ多くの仲間を集めたいと思います。事務局の存在も心強く、安心して活動できる体制が整っています。役職に就くのは無理だ

と思う方も、事務局や仲間がフォローするので安心です。ぜひ参加して、みんなで楽しみましょう。



70TH  
INTERVIEW

## 伊藤 英実

創立70周年事業特別委員会 委員長  
日本洋瓦商事株式会社 代表取締役

創立70周年記念事業に向け、特別委員会を設置し1年ほど前から準備を進めてきました。講演会では株式会社IHI特別顧問の齋藤保氏を招き、宇宙事業についてお話を伺います。企業を取り巻く変化が大きい今だからこそ、未来に希望を持てる話を届けたいと思っています。

懇親会では、地元で活躍するお笑いコンビ・まつトミに進行をお願いし、抽選会を開催。これまで全員に記念品を配る形でしたが、今回はなるべく多くの人にいろいろな賞品が当たる形にしました。盛り上がること

を期待しています。

今回の開催にあたって、60周年までのやり方と変えたところも多かったですね。既存の各委員会が企画立案したものを、特別委員会で協議して全体像を決めていく。若い世代を中心にコンパクトでスピーディに意思決定できる体制で取り組んできました。

職場でリーダーとして動いている人が多いので、一人ひとりを尊重しながら方向性をしっかりと共有。チームの個性を生かしながら、自由度高く動いていると思います。中法人会でのこうした活動に自ら飛び込んで関わっていくことこそ、長い目で見たときに魅力やメリットにつながると思います。

今回は仙台中法人会の存在を地域の方に知ってもらおう機会にもなると考えています。よく「どんな組織なの?」「何をしているの?」と聞かれるんです。

たとえばエコキャップ回収活動や租税教室など、地道に続けている社会貢献活動は、日頃からもっと広く知られてもいいのではないかと考えていました。

会員が声かけして、一般の方(ゲスト)にも参加してい



日本洋瓦商事株式会社  
仙台市宮城野区高砂1-31-4  
TEL.022-259-2241 (代表)



70TH  
INTERVIEW

## 安達 裕明

仙台中法人会経営者懇話会 会長  
株式会社スリーエイト 代表取締役

「経営者懇話会」は企業代表者を対象とする組織として160名が参加しています。

活動の中心は、経営のヒントになる講演会や、会員の親睦を深める交流会です。参加者の年代は20代から80代まで幅広く、業界や経験もさまざま。意思決定の際には意見のすり合わせに難しさを感じることもありませんが、多様だからこそ新しいアイデアが生まれる面白さもあります。意見が一致する部分は互いに高め合い、合わない場合はよりよい方向を探り合える関係でありたいと考えています。

会長職に就きましたが、決して話が上手なタイプではないんです。モノづくりを生業としていたため、ユニークな企画の提案をしたり、人を楽しませる工夫は得意な方です。活動がより魅力的なものになるよう、イベントや講演会などの「場づくり」に、自分なりの発想という強みを生かして取り組んでいきたいと思っています。

懇話会では、経営者同士だからこそその悩みや本音が共有できます。同じ立場の仲間と意見交換ができる場があることは大きな支えとなっています。自然と参加者同士の距離感も近くなり、たとえば還暦祝いなどの個人的なイベントもとても盛り上がりがあります。

常に気にかけてもらい、仕事の依頼をいただくことも多く、人とのつながりが新しい仕事を生むことも珍しくありません。事業領域から少し外れていても、仲間からの依頼なので挑戦してみる。そうした相互支援の関係は、私にとって大きな力になっています。

経営者に必要なのは「挑戦する気持ち」だと思います。特に若い世代には、リスクを恐れるより前にまず一步を踏み出して

ほしい。失敗から得られる学びも多く、若いうちの失敗はむしろ宝です。私自身、失敗の積み重ねが今につながっていると思っています。

懇話会には長く事業を続けてきた先輩経営者が数多く在籍しています。経営のコツや失敗からのリカバリーといった「生きた経験談」を聞けることは大きな魅力です。ここで得られる学びやつながりを、次世代にも受け継いでいければと願っています。



仙台市立鶴巻小学校の壮大なエコキャップアート

株式会社スリーエイト  
仙台市若林区御町1-3-3  
TEL.022-782-6689



# Photo Eye

いま、中法人会は

(文責：事務局)

## 11/11 仙台中税務署長講演会

11月11日、仙台サンプラザを会場に「仙台中税務署長講演会」並びに「経営者懇話会第2回例会」が開催された。

国税庁では、11月11日から17日までを「税を考える週間」と定め、この期間を中心に税の重要性や納税の意義・税務行政への理解を深めてもらうため、様々な広報・広聴活動を行っている。



仙台中法人会では、この取り組みに合わせて毎年「仙台中税務署長講演会」を実施している。今年度は7月に仙台中税務署長に着任した丹野昭氏を講師に迎え「事業者のデジタル化と最近の税務行政」をテーマに開催した。

講演後には、筆頭副署長の杉洲孝広氏、法人課税第一統括官の松橋章氏を交え、経営者懇話会との懇談会が行われ、活発な意見交換の場となった。

## 11/12 基礎から分かる決算書の授業



11月12日、戦災復興記念館を会場に仙台市内3法人会共催で「基礎からわかる！決算書の授業」が開催された。

講師のアルト経営パートナー(株)代表取締役・加藤敦子氏は「適切な経営判断をするには正しい決算書の読み方を知ることが必要不可欠である」と説明。自社の財務状況を客観的に見る方法を解説いただいた。

## 11/12 経理研究会 設立40周年

11月12日、メゾンドリアフィヨを会場に経理研究会40周年記

## 11/13 青葉第二支部講演会



念式典・記念講演会・祝賀会が開催された。式典では、仙台中税務署長の丹野昭氏、仙台中法人会会長の松坂卓夫氏より祝辞が述べられ、これまで活動を支えてきた会員への感謝と、今後のさらなる発展への期待が示された。

続く記念講演会では、フリーアナウンサーの石川太郎氏が登壇し「ラジオパーソナリティーが聞いた全国の経営者の『ひとひねり戦術』」をテーマに講演を実施。経営現場での工夫や逆転の発想を交えた実例が紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていた。

また、祝賀会では40年の歴史を振り返りながら和やかな雰囲気の中で会員同士の交流が深まり、新たな節目に相応しいひとときとなった。



## 11/14 健康セミナー

11月14日、トラストシティ

11月13日、TKPガーデンシティを会場に、青葉第二支部講演会「YOKO先生のウエルエイジングの本音トーク」が開催された。講師にせんだい総合健診クリニック院長の石垣洋子氏、ナビゲーターにフリーアナウンサーの渡辺祥子氏を迎え、「予防は治療に勝る！」という理念のもと、ウエルエイジングの心構えや若々しく過ごすための本音トークが展開された。



ラザカンファレンスルームを会場に、(一財)星陵心臓友の会との共催による健康セミナー「自衛隊(仙台)病院と衛生生活動について」が開催された。

講師に自衛隊仙台病院の院長である蝶野元希氏(医師/陸

将補)を迎え、自衛隊仙台病院の役割や、自衛隊衛生部門が担う災害対応、有事への備えといった重要な任務について説明された。また、同病院が自衛隊員向けの医療に加えて、地域の医療機関として一般診療も提供していることが紹介され、初めて知った参加者からは理解が深まったとの声がかれた。

## 11/17 宮城野第一支部講演会

11月17日、東北福祉大学仙台駅東口キャンパスを会場に、宮城野第一支部講演会「楽天イーグルス直伝！ビジネススマンにも使えるパフォーマンス向上のための身体

## 11/18 年末調整説明会



と食の健康戦略」が開催された。当日は、東北楽天野球団コンデイショニング部部長の蒔田大毅氏とスポーツ栄養士の金剛地舞妃氏を講師に迎え、アスリートの健康管理やパフォーマンス向上を支えるために日々実践している事例や最新の知見などが紹介された。

11月18日、イベントホール松栄を会場に、仙台中税務署との共催による「年末調整説明会」が午前・午後の2回にわたり開催された。

当日は、仙台中税務署法人課税第一部門の武田理香子氏を講師に迎え、令和7年度の改正点や適用上の留意事項、また所得税の基礎控除見直しに伴う年末調整事務に

## 11/26 PCセミナー 生成AI活用講座



ついて、詳しく解説いただいた。

11月26日、PARM-CITY 131を会場に「生成AI活用実践セミナー」が開催された。

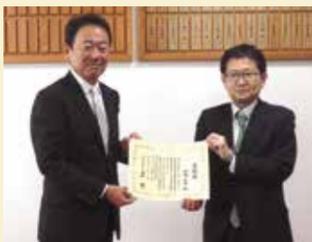
講師には、(有)ネットシナジの佐々木久夫氏を迎え、従来型AI

と生成AIの違いや、最新の活用動向、そして日常生活やビジネスでの導入ステップについて学んだ。また、演習ではテキスト生成ツールの代表であるChatGPTや、Windowsに搭載されているAIツールを実際に操作し、その活用方法を体験的に習得した。

## 納税表彰

11月14日、仙台中税務署署長室において「令和7年度仙台中税務署納税表彰式」が執り行われました。

長年にわたり、納税道義の高揚や税務知識の普及に尽力し、税務行政へ積極的に貢献された功績が高く評価され、当会副会長の伊藤英美氏(日本洋瓦商事(株))が栄えある表彰を受けられました。





1 1月31日（土）まで新春プレミアムコースを提供（15,000円）。自家製キャビアをはじめ、匠の技が光る品々が並び  
 2 生きたチョウザメの仕入れからキャビアの仕込みまで手がけるホテルは全国的に見ても稀。キャビアの舌触りを損なわないよう、粒子が細かいヒマラヤ岩塩クリスタルソルトを使う  
 3 令和7年度「現代の名工」として表彰された菅井敏彦総料理長。長年にわたり後進の育成にも尽力してきた

※価格は税・サービス料込

仙台市青葉区中央4-6-1  
 TEL.022-268-1101(直通)  
 ランチ 11:30~15:30(L.O.14:30)  
 ディナー 17:00~21:00(コース L.O.19:30)  
 定休日:月・木曜



※写真はイメージです。実際のコース内容と異なる場合がございます。

### 飾りではなく主役 薄塩仕込みのホテルメイドキャビア

## 仙台国際ホテル レストラン「ロジェ ドール」 青葉区中央

「杜の都の美食ホテル」として知られる仙台国際ホテルの5階。レストラン「ロジェ ドール」では、宮城をはじめとした東北の鮮魚や仙台牛、ホテルが保有する畑で採れた四季折々の野菜など、海と大地の恵みを存分に味わえる。美味を極める逸品の中でも、ひとときわ輝きを放つのが自家製キャ

菅井総料理長は2025年11月、厚生労働省が表彰する卓越した技能者「現代の名工」に選出された。2月21日（土）には、ホテルイベント「至福の晩餐会（28000円/料理・飲み物付）」を開催予定。料理人の矜持が宿るひと皿を、心ゆくまで堪能したい。

「キャビアのおいしさを存分に表現できるメニューを企画してお待ちしています」と胸を張る匠が仕上げた、できたてのフレッシュキャビアは、ここしか味わえない。  
 活チョウザメから魚卵を取り出し、塩漬け、味付け、そして、料理としての提供に至るまで、すべての工程を指揮するのは菅井敏彦総料理長。11月17日に行われた年に一度の仕込みでは、「昨年以上に食味と食感に可能性を感じた」と確かな手応えを語った。  
 ビア。一般的なキャビアは、長期保存を目的に加熱処理が施され、塩分濃度も7〜10%と高め。一方、仙台国際ホテルでは、魚卵そのものの美味しさを引き出すため、一切加熱を行わず、塩分濃度も3%に抑える。

## 令和7年度・8年度 役員名簿

会長（代表理事）	松坂 卓夫	——	松栄不動産株式会社
筆頭副会長（代表理事）	高澤 雅哉	——	仙南タクシー株式会社
副会長（業務執行理事）	天野 博 伊藤 英実 後藤 隆博 津嶋 秀俊	——	株式会社吉田屋 日本洋瓦商事株式会社 株式会社江陽会館 株式会社藤崎
理事	石井 光二 植松 知幸 鹿郷 文也 嘉藤 明美 喜早 貴大 小林 長人 佐藤 さおり 清水 基正 庄子 顕志 高橋 栄一 永山 ゆみ 八矢 浩 松坂 信 松本 晨五	——	株式会社エスデーファイブ 税理士法人植松会計事務所 株式会社丸鹿 株式会社鐘崎 株式会社ヘルム喜早 有限会社小林工務店 株式会社日新 株式会社仙台バンケットクリエイション 株式会社仙台紙工印刷 株式会社仙台測器社 株式会社河北新報社 有限会社マイルストーン 株式会社すてーきはうす伊勢屋 株式会社リビング・プロモーション
監事	飯川 洋一 植松 悟 千葉 勇喜	——	飯川洋一司法書士・行政書士事務所 弁護士法人植松法律事務所 千葉勇喜税理士事務所

※上記のすべての理事・監事は非常勤である

10月29日
11月11日
12月 6日
61年 1月17日
5月
5月13日
9月
10月
11月13日
12月
62年 3月
4月 3日
8月11日
9月 6日
63年 2月
4月 7日
4月20日
6月13日
12月10日

元年2・3月
5月
6月 1日
9月21日
2年 6月26日
3年 5月
6月20日
6月
11月11日
5年 5月
5月19日
6年 5月
7年 2月22日
4月19日
11月 8日
8年 1月19日
6月10日
10月
11月
9年 4月
7月21日
11月11日
10年 1月22日
11年 6月11日
12年
1月29日
6月
7月26日
11月
13年 2月22日
3月
6月11日
6月13日
14年 6月
11月15日

仙台で一日行革審議会が開催され、役員多数出席した。  
 全国で初めての「経理研究会」を設立、会長に森勝雄氏を選任。  
 会員数は3864社、加入率53.6%  
 創立30周年記念式典及び社団化10周年記念式典を開催。  
 (シンボルマークの制定・記念会員名簿発行・記念レクリエーションの実施等)  
 税制抜本改正に関するアンケート調査を実施。  
 第5代会長に吉田栄延氏を選任。  
 研修ビデオの無料貸出しを開始。  
 商法改正に関するアンケート調査を実施。  
 会員4000社突破記念大会を開催。  
 会員数4096社、加入率54.6%  
 売上税に関するアンケート調査を実施。  
 理事会において売上税に関する意見書を決議、上部団体に要望。  
 21世紀委員会を設置。(新規事業・基盤整備の2分科会も設置)  
 青年部会で初めて“全国青年部会仙台的集い”を開催。(229名参加)  
 会員の厚生制度として“在宅がん検診制度”を実施。  
 青年部会第4代部会長に佐山勝秋氏を選任。  
 21世紀委員会の中間答申により4つのコンセプトを決定(役立つ・身近か・信頼される・活動的)  
 今後の活動の基本方針とする。  
 委員会を再編し、厚生委員会を新設、6委員会とした。また副会長に相澤博氏を選任。  
 消費税特集号として会報臨時号を発行。

消費税研修会を36回に渡って実施。  
 消費税シートを作成、全国にも頒布。(6万枚発行)  
 会員企業厚生事業として互助会方式の“クローバークラブ”発足。  
 社長懇話会100回を迎え、記念講演会(桂小金治氏)等を開催。  
 創立35周年・社団化15周年記念式典を開催。  
 3.5初版「改正商法実務対策」図書発行。商法改正に伴う増資手続き並びに税務対策を含めた図書。  
 会員のみならず全国各法人会にも頒布。  
 社長懇話会発足10周年記念式典  
 社内掲示用の社員向け動機付けポスターを作成。会員に配布した。  
 青年部会設立10周年前年祭。1991年ミス日本トークショーを開催。  
 法人会のマークが新しく変わる。  
 第6代会長に相澤博氏を選任。通常総会において定款の改正を行った。  
 当会会報に連載された「不況しらずの元気企業群」が好評を博し、小冊子として発行した。  
 1万部。著者：経済ジャーナリスト・疋田文明氏。  
 県内で2番目の女性部会が発足。初代部会長に大原好子氏を選任。  
 平成7年1月17日、兵庫県南部地震災害義援金を募り、兵庫県東京事務所へ5,631,588円送金した。  
 経理研究会設立10周年記念式典が行われた。  
 新年賀詞交換会にて、創立40周年記念表彰を行った。  
 社会貢献特別委員会を設置。第1回目の委員会が開催された。  
 事業活動の充実を図るため、無作為抽出方式により会員アンケート調査を実施した。  
 税を知る週間広報用横断幕を作成し、中央通り商店街に掲示した。  
 消費税5%引き上げに伴い、消費税シート改訂版(B4版)を作成、頒布した。  
 日本絵手紙協会会長、佐賀中央郵便局長を招いて、拡大絵手紙教室を開催。  
 青年部会設立15周年記念式典祝賀会が開催された。ホームページの開設。  
 社長懇話会200回記念講演会を開催。新年賀詞交換会も開催された。  
 第7代会長に田中善次郎氏を選任。  
 消費税の理解と早期納付を呼びかけるため、ステッカーを作成、全会員に配布した。  
 創立45周年社団化25周年にあたり、役員表彰を行った。  
 独自の福利厚生制度として、移動健診車による定期健康診断制度・脳の健康診断制度・脳ドック制度を開始した。  
 青年部会OB“喜勢会”が発足した。  
 宮城県中小企業団体中央会補助による情報調査委員会を開催。  
 インターネット活用による情報武装化の調査・研究を行った。  
 女性部会設立5周年記念講演会・祝賀会を開催。  
 情報調査委員会にて「インターネット活用による情報武装化の調査・研究」についてまとめた報告書(冊子・ダイジェスト版)を発行。配布した。  
 第8代会長に松坂宏氏を選任。  
 経理研究会設立15周年記念講演会が開催された。  
 新会員章を作成。全会員に配布した。  
 青年部会設立20周年記念式典を開催。



## 仙台中法人会 70年のあゆみ

30年12月26日
31年11月 7日
32年 9月 1日
10月19日
33年 6月18日
34年 7月20日
8月 1日
39年 9月26日
45年 7月10日
46年 6月
47年12月
48年 7月 4日
49年 5月13日
50年 7月15日
12月28日
51年 1月12日
2月18日
2月23日
3月 4日
52年 8月11日
53年 1月12日
2月20日
3月 1日
7月
54年 3月20日
3月26日
4月 1日
55年 1月22日
4月24日
5月 7日
10月 8日
10月17日
56年 3月
6月18日
57年10月13日
11月11日
58年 4月
5月23日
7月22日
59年 1月 1日
2月13日
2月22日
5月18日
5月24日
9月 1日
10月11日
11月 8日
60年 3月31日
9月26日

仙台北税務署管内を区域として「仙台法人会」を設立・会員数42社。  
 初代会長に内ヶ崎賢五郎氏。副会長に氏家清吉氏、藤崎三郎助氏、菅野千代夫氏が就任。  
 県内12法人会で宮城県法人会連合会が結成され、当会が事務局となった。  
 仙台法人会会報創刊号を発行。  
 全国法人会総連合に加入。  
 会費規定を均等割と資本金割の併用制とした。  
 第2代会長に伊澤平勝氏が就任。  
 東北六県法人会連合会が設立され、  
 当会が県連合会事務局を担当しているため、事務局兼任となった。  
 第3代会長に菅野千代夫氏が就任。  
 仙台北税務署が分割、仙台中税務署が発足。  
 全法連で経営者大型保障制度を発足させた。  
 法人会ローン制度を五行と契約した。  
 第4代会長に今泉清氏が就任。会員数1042社。  
 通常総会で社団化を決議。  
 事務局の専従職員3名の体制となった。  
 会員総数4728社、加入率50.8%となった。  
 仙台法人会を発展的に解散、社団法人仙台法人会の設立総会を開催。  
 事務所を商工会議所2階に設置。  
 仙台国税局長から社団化の許可書が交付された。  
 第1回常任理事会で将来、北、中署別に法人会を分離することを決定。  
 社団化設立式典、並びに創立20周年記念式典を挙行。  
 会報の題字を“法人ニュースせんだい”と改め、第三種郵便物の認可を得た。  
 臨時総会を開催、北中両税務署の法人会を分離「社団法人仙台中法人会」が誕生した。  
 会長は今泉清氏。  
 社団法人仙台中法人会に設立許可書が交付された。  
 社団法人仙台中法人会設立記念式典を開催。  
 初めてアンケートを実施した。  
 事務所を東北法人会館に移転。  
 東北法人会館の落成祝賀会を開催。  
 会員数3148社(加入率51.8%)事務局が4名体制となった。  
 初めて永年勤続経理担当表彰を実施。  
 総会で会費規定及び、支部区域(27より29支部)を改正。  
 法人会館で無料税務相談を常設。毎月第1水曜日に実施。  
 創立25周年記念式典を挙行。  
 行政改革講演会を初めて開催。講師は庭山慶一郎氏。  
 創立25周年記念会員名簿を発行。  
 月例の社長懇話会(第3木曜日)がスタートした。  
 会員大会を開催、組織強化、行政の推進などを決議。  
 東北で初めて青年部会が発足。初代部会長に奥田潤一氏を選任。  
 行政ステッカーを作成、配布。  
 「行政フォーラム仙台」に参加、行政ステッカーを配布。  
 仙台で全法連会員大会を開催。  
 法人ニュースせんだい通算100号記念特集号を発行。  
 当会主催による「行政を考える会」を開催。  
 県・市に対して行革推進に関する陳情を実施。  
 行革講演会を開催。講師は三宅道夫氏。  
 仙台で一日行革審議会を開催、吉田副会長が意見を陳述。  
 福利厚生制度として「がん保険制度」を導入。  
 知事・市長及び議会に対して地方自治に関し、行革推進を陳情。  
 当会主催による「行政を考える集い」を開催。  
 昭和59年度の年間研修会は100回を超し、行事の回数は360回を超す記録となった。  
 参議院大蔵委員会国税調査が仙台で行われ、今泉会長が税務団体として意見の陳述を行い、  
 法人会報の制定などを要望した。

仙台中法人会の管轄エリアは  
**仙台市青葉区の一部**  
**仙台市宮城野区の一部**  
**仙台市若林区の全部**  
 です



**仙台市青葉区の一部**

青葉山、荒巻字青葉、荒巻字三居沢、一番町1～4丁目、五橋1・2丁目、大手町、大町1・2丁目、  
 霊屋下、片平1・2丁目、花壇、川内(全)、北目町、国分町1・2丁目、米ヶ袋1～3丁目、桜ヶ岡公園、  
 立町、中央1～4丁目、土樋1丁目

**仙台市宮城野区の一部**

銀杏町、出花1～3丁目、扇町1～7丁目、岡田、岡田西町、蒲生、蒲生1～5丁目、五輪1・2丁目、  
 栄1～5丁目、白鳥1・2丁目、新田3丁目9番(5・6・8・12・16号を除く。)、10～12番・13番(6・8・  
 10・11・13・16号を除く。)、15番51号・18～21番、新田4・5丁目、新田東1～5丁目、仙台  
 港北1・2丁目、高砂1・2丁目、高瀬町、田子、田子1～3丁目、田子西1～3丁目、館町1・2丁目、  
 榴ヶ岡、榴岡1～5丁目、鶴巻1・2丁目、鉄砲町、中野、中野1～5丁目、苦竹1～4丁目、西宮  
 城野、二十人町、二十人町通、萩野町1～4丁目、原町1～3丁目、原町6丁目、原町苦竹、原町南目、  
 東宮城野、日の出町1～3丁目、福住町、福田町1～4丁目、福田町南1・2丁目、福室、福室1～  
 7丁目、平成1・2丁目、港1～5丁目、南目館、宮城野1～3丁目、宮千代1～3丁目

**仙台市若林区の全部**

平成	15年 5月19日	女性部会臨時総会を開催。経営者懇話会年会費額変更に伴い、女性部会の年会費額を変更した。
	5月22日	社長懇話会の名称を“経営者懇話会”と改め、第1回経営者懇話会を開催。
	6月17日	名称変更とともに、経営者懇話会運営委員会を設置した。
	12月	第9代会長に高尾寛氏を選任。
	16年 3月	(社)日本経営士会との提携により、毎週月曜日に無料経営相談を開催。
		消費税内税表示に伴い、ステッカーを作成。会員へ配布した。
	4月	消費税シート改訂版を作成。会員へ頒布した。
	6月19日	第一法規(株)との提携により、当会ホームページ上にて法律相談を開始。
	11月	PET(陽電子断層撮影装置)検査を開始。
	17年 2月22日	社会貢献事業として「身近な環境と親子塾」を開催。
3月29日	仙台駅前青葉ビジョンに「税を考える週間」CM放映。	
6月 8日	女性部会設立10周年記念式典・祝賀会を開催。	
9月17日	新潟中越地震災害義援金を募り、日本赤十字社新潟県支部へ573,000円送金した。	
11月11日	創立50周年社団化30周年記念事業「フィンランド福祉国家視察」。	
19年 1月31日	創立50周年社団化30周年記念事業。藤崎前にて記念チャリティーイベントを開催。	
19年度	経理研究会設立20周年記念講演・式典・祝賀会を開催。	
5月21日	東二番丁小学校から租税教室が始まる。	
11月28日	新潟中越沖地震災害見舞金の募集・日本赤十字社新潟県支部へ送金(124件1,217,011円)。	
20年 1月12日	第10代会長に吉田久武氏を選任。	
20年度	全国法人会総連合主催の法人会活動研究セミナーが仙台で開催される。	
5月26日	青年部会設立25周年セレモニー・作品展示会開催。	
9月 1日	エコキャップ回収運動開始。	
21年 4月	全国に先駆けて女性部会にて税に関する絵はがきコンクールを実施する。	
	平成20年度の通常総会にて特別委員会としての公益法人制度改革対応委員会の設置が承認される。	
11月29日	事務局を青葉区上杉3-1-30から青葉区大町1-1-30新仙台ビルディング6階に移転し運営を開始。	
22年10月15日	会員企業を対象にした、	
11月25日	楽天ゴールデンイーグルスのホームゲームペアチケット抽選プレゼントサービスを始める。	
23年 3月11日	正副会長会議が月1回の定例会議としてスタートする。	
4月21日	青年部会にてエコキャップ回収日を決め運動を始める。	
6月27日	経理研究会設立25周年記念講演・式典・祝賀会を開催。	
24年 3月21日	環境授業を小学校で始める。	
11月16日	14:46に未曾有の東日本大震災が発生し事務局入居のビル並びに事務所内部に大きな被害を受ける。	
25年 3月18日	東日本大震災の影響により第6回法人会全国女性フォーラム宮城大会(仙台市が会場)が中止となる。	
4月 1日	東日本大震災により例年の時期よりも1ヶ月程遅く平成23年度の通常総会が行われ、 公益社団法人への移行認定決議の承認を受ける。	
5月28日	行政庁である宮城県に公益社団法人への移行申請を行う。	
6月 5日	青年部会設立30周年記念式典・祝賀会を開催。	
27年 2月	行政庁である宮城県より公益社団法人への移行認定を受ける。	
	先の公益法人への移行認定を受けたことにより公益社団法人として設立・運営を開始する。	
3月	定款等の大幅な変更により理事定数を70名から20名とし、代表理事は2名体制となり、 最初の代表理事には会長の吉田久武氏と筆頭副会長の奥田潤一氏が就いた。	
6月 9日	経営者懇話会が部会としてスタート、新会長には小林長人氏を選任。	
28年 1月	公益社団法人としての第1回定時社員総会が開催される。会長は吉田久武氏。	
	平成26年度の租税教室開催小学校が20校(27クラス)となる。	
30年 8月	平成26年度のエコキャップ回収個数が200万個を超える。	
令和	第11代会長に相澤博彦氏を選任。	
	2年 6月	創立60周年記念事業を開催。記念講演会では、近隣小学校の児童・保護者を招待して、 「らんま先生のエコ実験パフォーマンスショー」を実施。
	3年 6月	事務局を青葉区大町から現住所(青葉区一番町)へ移転。
	4年 6月	第12代会長に島田博雄氏を選任。
	11月	第13代会長に田中善一氏を選任。
	5年 4月	会費規定改定(クレジットカードによる納入方法を導入)。
	5月	青年部会設立40周年記念講演会、記念式典、祝賀会を開催。
	6年 2月	支部再編(統合)により7ブロック14支部から、ブロック制を廃止し8支部へ。 ホームページリニューアル。
	7年 6月	能登半島地震災害義援金を募り寄付(829,500円)。
	11月	女性部会設立30周年記念式典、祝賀会を開催。 第14代会長に松坂卓夫氏を選任。 経理研究会設立40周年記念講演会、記念式典、祝賀会を開催。

# 指導者としての人の生かし方

# CHECK

# 3つのポイント

指導力強化トレーナー 吉良能慶

リーダーは「指導者」という立場も当然あるわけです。人の指導の方法はさまざまあるかと思いますが、相手や状況によって変える必要はあります。

一番重要なのは、方法論の前に指導者としての「マインド」といいますか「在り方」というのでしょうか。根本の部分がズレていたら教育どころか経営そのものもおかしくなります。

企業にはさまざまな人がいます。教育はその人たちの人生をも左右します。人の生かし方を追求することが大事です。

ここでは「人の生かし方」のポイントを3つ解説します。

### その指導は、指導者の愛か、自己愛か

仕事において、上司が部下を使い、指導するのは当たり前です。また、他者の協力を仰ぐこともあります。その際、上司の姿の中に、エゴイステイック（利己的）

### 部下の叱り方

なものが無いかどうか、というところが大事です。

上司が部下を使って仕事をすることが、会社のためであったり、部下のためであればいいのですが、自分の手柄や、自分の自己実現のためだったとしたら間違いです。

手柄をすべて自分のものにしてしまう人が多く見受けられます。

認識力も高く、立場が上の上司が、高いところから下の人を導くことは当然です。

そういう人の導きが無ければ、下の人は何をしたら良いかわかりません。

例えば、将来社長になるような器の人であっても、新入社員の段階では課長や部長の仕事はできません。立場が上の人が方向付けをすることが大切です。

そこに、指導者の愛があるか、単に上司の利己的な理由なのか問われます。常にその動機を点検する必要があります。

仕事をしている時、どうしても部下を叱らなければならぬ場合があります。

当然ですが、叱る場合は、愛情（指導的愛）がその根底になければなりません。

能力が高い部下を叱る時は、プライドの高いタイプか、あまりこだわらないタイプかを見分ける必要があります。

プライドの高いタイプに對しては、人前で強く叱らないことです。

多くの人の前で厳しく叱ると、非常に心が傷付き、以降、上司に對して反感を持ち、協力してくれなくなります。

特にそういうタイプの男性を女性の前で叱るのは最も危険です。これは絶対してはいけません。上司に對して恨みを持つようになります。

プライドの高い人を叱る場合は、誰もいないところで、諭すように叱ることで

す。

一方、陽気で、物事をあまりこだわらないタイプに對しては、人前で叱っても大丈夫です。

こういうタイプは、スタビリティを求めているようなところがあるので、人前で叱ってもダメージを受けにくく、かえって周りが励ましてくれてその人は成長することがあります。

逆に、こういうタイプの人を、こっそり叱っても効果はありません。

また、会社には、有能な社員ばかりではありません。できれば、他の部署に異動してほしい、と思う社員もいます。

ただ、ビジネスの世界では、いったん引き受けてしまつと、責任上なかなか他の部署に出せませんし、面倒を見なくてはなりません。

管理能力のない人が管理者になつたら本人だけではなく、他の人も不幸になります。

能力のない人に、難しい

仕事は限度があります。

その人が背負うことのできる範囲はどこまでか、というのを限定して、その人が機嫌よく働けるように責任の範囲を明確にすることがです。

能力のない人を、捨てたり、お荷物扱いにしたり、また、かわいそうだからと同情することも良くありません。

その人に合った仕事を与えることです。

また、能力のない人で、失敗する恐れのある人に対しては、失敗してから叱るのではなく、失敗する前に必ずクギを刺すことも必要です。

その人がミスしそうな部分を事前に注意しておかなくてはなりません。

有能な部下に対しては、あまり口を挟むと意欲をそいでしまいます。仕事を任せられるタイプの人には、どんどん任せたいので

現実は、ここに挙げたタ

### 指導者（リーダー）に必要な二つの愛

リーダーには指導的愛が大事であるということは先にも述べました。

この指導的愛は2つの要素に分けることができます。

一つは、「情」を含んだ愛です。

「側隠（そくいん）の情」です。情が中心の愛です。「側隠の情」とは、相手の心情を深く理解することであり、親が子を思う心と同じで、相手の立場に立つて、ものごとを感じるとして、この「側隠の情」は、「情け」に流されやすい傾向があり、相手に同情し、涙する気持ちには非常に大事です。が、ただ、これに流されると、慰め合っている集団になってしまいます。

もう一つの愛は、「知性」を含んだ愛です。

その愛は、拡大の形式を含んでいます。

「側隠（そくいん）の情」です。情が中心の愛です。「側隠の情」とは、相手の心情を深く理解することであり、親が子を思う心と同じで、相手の立場に立つて、ものごとを感じるとして、この「側隠の情」は、「情け」に流されやすい傾向があり、相手に同情し、涙する気持ちには非常に大事です。が、ただ、これに流されると、慰め合っている集団になってしまいます。

もう一つの愛は、「知性」を含んだ愛です。

その愛は、拡大の形式を含んでいます。

気持ちや、人の痛みを理解し何かをしてあげたいという、弱者に對するいたわりや、思いやりの心を表します。

人に対する同情や弱者への思いやりこそ、人として最高の徳に通ずるとする発想が日本人の思想の根底となつていきます。

ところが、これは日本国内では普遍的に通用する論理ですが、必ずしも国の外に向かつて通用するとはかぎりません。

国益を賭けた国家間の外交上、側隠の情はむしろ邪魔になり、有害に作用することがあります。

この「側隠の情」は、「情け」に流されやすい傾向があり、相手に同情し、涙する気持ちには非常に大事です。が、ただ、これに流されると、慰め合っている集団になってしまいます。

もう一つの愛は、「知性」を含んだ愛です。

その愛は、拡大の形式を含んでいます。

すなわち、「この愛をどう広げていくか」ということに関する創意工夫を含んでいます。

また、人を指導できる高さをもち、人を救うことができる人の愛と言えます。

側隠の情の愛は、人が弱っている時や挫折している時に「抱きしめてほしい」という気持ちがあるので、そういう時は、慰める愛も必要です。

しかし、人を向上させる愛の大切さも知らなくてはなりません。

例えば、発展途上の国への援助に關して、水不足の国に水を与えるのと、井戸の掘り方を教えるのと、どちらが良いかという議論があります。

単に水を与えるだけの援助だと、いつまでも与え続けなければなりません。しかし、井戸の掘り方を教えるれば、自分たちで水をいつでも手に入れることができます。

物を与える事より、農業

や工業の技術や知識を与える事の方が重要です。

側隠の情も確かに大事ですが、国や人の将来を見据えて、成長できるような「知性」がある愛が、指導者には必要です。

国の指導者でも、企業の指導者でも必要なのは「愛」と「知恵」です。愛を与えるためには知恵が必要です。また、知恵をさらに発展させるためには愛が必要で

要するに、人の苦しみや悩みが見えるからこそ、知恵を絞ることになるわけです。

少数の人たちが活動すればよいと考えたならば、その愛は小さいのです。

本当の愛であるならば、一人でも多くの人を救いたい、幸福にしたい、という思いが無ければなりません。

大きな愛を実現するためには知恵が必要です。指導者は、知恵を含んだ愛を大切にしたいです。



# 人手不足時代を生き抜く企業の要 若手社員を強い部下に育てる

経営コンサルタント 玉置隆治

## 人手不足が経営を脅かす

企業はかつてない人手不足の時代に入っている。加えて、厚労省の賃上げ実態調査で改定額は4年連続で最高額となり、労働分配率は8割近くにある中小企業経営にとって重圧となっている。

さらに、同省の「新規学卒者の離職状況」で、2021年3月の大卒者の3年目までの離職率は約35%に上り、長らく大卒者の3年目までの離職率は3割台が続いている。人手不足は泣き面に蜂的な状況である。

まさに、若手社員の確保と育成は企業存続の最重要課題となった。

今、経営者や管理者は、単なる人材確保ではなく、「強い部下」を育てること

に本気で取り組まなければならぬのだ。

若手社員の育成は、企業の活力と競争力を左右する。実際、厳しい経営環境下でも業績を伸ばしている企業は、現場が活気に満ち、若手社員が高いモチベーションでトップの方針に俊敏に反応している。

こうした職場は、経営者や管理者が意識して育て上げたものであり、若手社員の成長は現場づくりの成果でもあるのだ。

では、今の時代に若手社員を戦力化し、持つべき仕事意識とは何か。

人手不足の中でも成果を出し、職場を活性化させるために、若手社員に植え付けたい意識について記している。

## 若手社員を育てる「6つの意識」

**仕事の目的と価値を理解する意識**

若手社員には、目の前の業務が「何のためにあるのか」「誰の役に立つのか」を常に意識させたい。細分化された業務でも、それがどのように次の工程

につながら、顧客に役立ち、最終的に顧客価値や企業利益に結びつくかを理解することで、仕事の質が格段に向上する。

**時間を成果に変える意識**

時間はコストであり、成果を生む資源である。納期を守ることは顧客との信頼関係の基本であり、遅延は企業の信用を損なう。「段取り八分」を徹底し、事前準備の習慣を根付かせることで、生産性は飛躍的に向上する。

**コスト意識と成果責任**

給与は「権利」ではなく「責任の対価」であるという認識を持つことが重要だ。企業は社会から経営資源を借りて利益を生み、その

に向上する。

明日の仕事は前日までに、来週の仕事は今週中に準備する習慣を持つことで、余裕ある対応が可能となる。

また、時間を守ることは職場のモラルでもある。自らの遅刻や時間管理の甘さは、他の同僚社員にも影響し、職場全体の士気を下げる。当たり前のことだが、若手社員には、時間厳守の重要性を社会人の基本として徹底したい。

さらに、時間意識を持つことで効率的な仕事を遂行するために、業務の優先順位を判断する力も養われる。限られた時間の中で成果を最大化するためには、何を先にすべきか、どこに経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を集中すべきかを考える力が不可欠である。

成果を社員・株主・社会へ分配する。

若手社員には、自分の仕事とその利益創出にどう貢献しているかを理解させることが大事だ。当然、営業車両やコピー用紙、備品などの使用にもコストがかかっている。無駄を排除し、減らす意識が利益を生み、企業の健全な運営につながる。給与を「責任」として捉えることで、自己本位から脱却し、相手（顧客）本位の高い価値観を持って仕事に取り組み姿勢が形成される。

単なる節約ではなく、企業経営の視点を持つことにもつながる意識が欠かせない。若手社員が経営者の視点を持つことで、現場からの新しい改善提案や価値創出が生まれやすくなる。

**品質と期待を超える意識**

品質とは、社員一人ひとりがこなす仕事の出来栄であり、指示した人の期待に込めているかどうかで判断される。期待以上の仕事

を目指すことで、顧客からの信頼と自社の成長を得ることができる。

そのためには、若手社員には上司や顧客の「真の期待」を察する力が求められる。期待を超える成果は、次のステージへの挑戦権を得ることであり、自分の能力・スキルを高める機会となる。若手社員には、「期待を超える仕事」が自分の成長につながるのだ。さらに、品質へのこだわりは、企業ブランドの向上にも直結する。

若手社員が「自分の仕事が会社の顔になる」という意識を持つことで、仕事への責任感と誇りが育まれる。

**顧客起点の意識**

ビジネスは顧客がいてこそ成立する。仕事は顧客の期待に応えるために存在するものであり、上司の指示だけでなく動くルーチンワークに陥ってはいけない。

直接顧客と接しない職種でも、「この仕事は誰のためか」「顧客にどう貢献しているか」を常に意識する

ことが重要であり、欠かせないものである。

顧客視点を持つことで、仕事の目的が明確になり、改善意欲も高まる。若手社員には、「顧客あってこそ仕事」という原点を強く意識させたい。顧客起点の意識は、マーケティングや商品開発にも応用できる。若手社員が顧客の期待に敏感であれば、現場から新しいニーズを拾い上げ、企業の競争力を高めることができる。

**チームワークと協力の意識**

人手不足時代こそ、個の力をチームで補完する姿勢が欠かせない。自分の仕事に余裕があれば、周囲を助けるのは当たり前という文化を育てることができ、力が結集され、職場の生産性と士気は向上する。

職場の人間関係が良好であれば、当然にして、業績も品質も向上する。

若手社員には、「会社は全社員の協力によって成り立つ」というチーム意識を

持たせることが大事だ。

同時にチームワーク意識は、リーダーシップの土台にもなる。チームワーク意

## 経営者・管理者が果たす重要な役割

若手社員の育成は、経営者・管理者の責任である。

「6つの意識」を繰り返し伝え、行動に落とし込むことで、若手社員は確実に成長する。成果を出した若手を、率直に褒め、評価することがモチベーション向上につながる。

育成は一過性ではなく、3カ月・半年・1年と継続的に取り組むべきである。執拗と思われても、企業の存続、社員の安定、部下の人生を豊かにするために、当たり前のことを徹底する姿勢が求められる。

経営者・管理者が真剣に伝えれば、「思い」は必ず通じる。若手社員は見違えるように強くなり、職場は活性化し、企業は健全な経営へと進化していく。

そのためには、3つの姿勢が経営者・管理者には不可欠であり、要諦だと心得

識を持つ社員は、自然と周囲から信頼され、将来的にチームを牽引するリーダー的存在へと成長していく。

① 育成に時間とエネルギーを惜しまないこと

日々の業務に追われる中でも、若手社員との対話やフィードバックの時間を確保することが重要だ。

② 自らが模範となること

若手社員は上司の言葉よりも「行動」を見て育つものだ。時間管理、顧客対応、品質へのこだわりなど、経営者・管理者自身が6つの意識を体現することで、職場全体が活気にあふれ、好循環が生まれる。

③ 失敗を責めず、学びに変える文化を築くこと

若手社員は挑戦の中で成長する。失敗を恐れて動けなくなる職場では、創造性も改善力も育たないのだ。失敗を共有し、次に活かす姿勢を評価することで、心理的安全性の高い職場が築かれる。

**代表取締役**  
**庄子 顕志**  
携帯: 090-3124-7038

**株式会社 仙台紙工印刷**  
〒983-0036 仙台市宮城野区若竹3丁目1-14  
電話: 022-231-2245 FAX: 022-231-2247  
e-mail: ssps-kenji@work.email.ne.jp

**SBC SINCE 1975**  
**株式会社 仙台バンケットアレンジメント**  
通商産業大臣認可8産第116号 日本バンケット事業協同組合

**代表取締役社長 清水 基正**  
仙台市青葉区中央3丁目1-14 中央古久積ビル5F  
PHONE: 022-263-4389(代)  
FAX: 022-263-4398  
URL: http://www.sendai-banquet.com  
Mail: motomasa@sendai-banquet.com

※名刺広告の並びは順不同となります

**SHOEI 松栄不動産株式会社**  
**代表取締役社長 松坂 卓夫 Takuo Matsuzaka**

本社 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡一丁目2-8  
TEL: 022-295-5080 FAX: 022-256-3023  
URL: http://www.shoei-fudosan.co.jp/  
e-mail: ta-ko@shoei-fudosan.co.jp

**アパマンショップ**  
資産運用からお部屋探しまで、不動産トータルコンサルタントとして

**株式会社 島田製作所**  
**取締役会長 島田 博雄**

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡三丁目11番5号  
コーポラス島田A109号  
TEL: 022-385-7161 FAX: 022-385-7337  
E-mail: info@stage-sendai.com

**Iikawa 飯川洋一**  
司法書士行政書士事務所

**所長 飯川 洋一**  
(簡裁訴訟代理認定)

**飯川洋一司法書士行政書士事務所**  
〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目2番1号  
仙台三蔵ビル6階  
TEL (022) 211-1770 FAX (022) 211-1778  
URL: https://www.iikawa-office.com  
URL: https://www.iikawa-souzoku.com  
E-mail: y.iikawa@iikawa-office.com

**株式会社 仙台測器社**  
**代表取締役 高橋 栄一**  
eiichi@sensoku.co.jp

**JAS-ANZ**  
〒984-0015  
本社/仙台市若林区卸町三丁目1番24号  
TEL (022) 236-1811(代)  
FAX (022) 283-1124  
URL: https://www.sensoku.co.jp/  
mobile Phone (080) 6026-3873

**江陽 グランドホテル**  
**取締役社長兼総支配人 後藤 隆博**

〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目3-1  
TEL 022-267-5111(代)  
FAX 022-265-2252(代)  
婚礼宴会受付 ☎ 022-265-8888  
FAX 022-265-8889  
E-mail: tgoto@koyogh.jp  
https://www.koyogh.jp/

**SENNAN TAXI 仙南タクシー株式会社**  
**代表取締役社長 高澤 雅哉**  
MASAYA TAKASAWA

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町1-6-27  
TEL: 022-236-1072(内) FAX: 022-236-1073  
配車室 0570-02-1070  
E-mail: ma-chan@hh.ij4u.or.jp

**但野浩司税理士事務所**  
**税理士 但野 浩司**

事務所 盛岡市内丸16-35  
〒020-0023 TEL 019(625)2311  
E-mail: k.tadano.aoyama@gmail.com

財務局・経済産業局認定 **経営革新等支援機関**  
**千葉勇喜税理士事務所**  
株式会社戦略ブレイン 株式会社未来会計

**税理士 千葉 勇喜**  
代表取締役  
MOBILE 080-4110-7554

〒980-0802 仙台市青葉区二日町16番1号二日町東急ビル6-A  
TEL: 022-215-9580 FAX: 050-3153-2238  
URL: http://chiba-zeirishi.tkcfnf.com  
Mail: chiba-yuki@tkcnf.or.jp

**FUJISAKI**  
**代表取締役会長兼社長 藤崎 三郎助**

株式会社 藤崎  
〒980-8652 仙台市青葉区一番町3丁目2番17号  
代表 022-261-5111 FAX 022-265-7707  
E-mail: fujisaki@fujisaki.co.jp  
https://www.fujisaki.co.jp

**日本洋瓦**  
**代表取締役 伊藤 英実**

日本洋瓦商事株式会社  
〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目31番4号  
Tel: (022) 259-2241(代)  
Fax: (022) 259-1540  
E-mail: hidemi@yogawara.com  
http://www.yogawara.com

**TKC 株式会社高橋会計事務所**  
**高橋健夫税理士事務所**  
**税理士 高橋 健夫**  
takahashi-takeo@tkcnf.or.jp

〒980-0822 仙台市青葉区立町11-4  
TEL (022) 223-7451(代) FAX (022) 222-8593  
http://www.takahashi-kaikei.co.jp/

**from K**  
**代表 吉田 啓子**

仙台市青葉区一番町4-5-30 (三越南隣り)  
TEL 022-223-4039 FAX 022-223-4039

**税理士法人 植松会計事務所**  
**所長 植松 知幸**  
税理士

〒983-0868  
仙台市宮城野区鉄砲町中5-6  
TEL 022-297-2771 FAX 022-291-8195  
https://www.uema2.com  
E-mail: uema2-t@tkcnf.or.jp  
TKCシステム徹底活用事務所

**代表取締役社長 石井 光二**  
ishii@sd5.net

**株式会社 エステーファイブ**  
〒984-0002 仙台市若林区卸町2丁目3-30  
TEL (022) 788-2366 FAX (022) 788-2379

**ComWork** 有限責任事業組合 コムワーク・プロジェクト 代表

**KOUEISHA PRINTING CO.,LTD**  
**取締役相談役 佐藤 克行**  
090-3126-3528

**株式会社 孔栄社**  
〒980-0822 仙台市青葉区立町16-13  
TEL: 022(262)4545 FAX: 022(216)4176  
E-mail: koueisha@k-koueisha.co.jp

**TKC 会計事務所**  
**株式会社みちのく経営 鈴木 徹税理士事務所**  
**代表取締役 税理士 鈴木 徹**

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-20 スズキビル 3F  
TEL: 022-302-6220 FAX 022-302-6223  
携帯 090-4885-0046  
E-mail: tooru-kaikei@tkcnf.or.jp

**代表取締役社長 嘉藤 明美**  
AKEMI KATO

明日をおいしく  
未来を楽しく

**株式会社 鐘崎**  
984-0001 仙台市若林区鶴代町6番65号 Tel / 022-231-5141  
Fax / 022-231-2897 Mail / a.kato@kanezaki.co.jp

**株式会社 丸鹿**  
〒983-0034  
仙台市宮城野区扇町五丁目8-8  
TEL (022) 235-1171(代)  
FAX (022) 235-1172

**代表取締役社長 鹿郷 文也**  
かきょう  
URL: http://www.marushika.co.jp  
E-MAIL: fumiya@marushika.co.jp

**ARAIWA HONTEN**

取締役副社長  
**荒井 美佐子**

リフレクソジスト / 植物療法士 / 精神対話士

**荒岩商事株式会社**

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目 6-10  
TEL:022-222-5466 FAX:022-222-5472  
TEL:022-715-9810 クアハート(リフレクソロジーサロン)  
Mobile:090-2796-8531 E-mail:araiwahonten@s7.dion.ne.jp

**佐藤通信工業株式会社**

代表取締役 **佐藤 行人**

〒984-0038 仙台市若林区伊在二丁目 1 番地の 4  
TEL:(022)288-1599(代)  
FAX:総務部・営業部(022)288-0919  
技術部(022)287-0942  
E-mail:y-sato@satotusin.co.jp

※名刺広告の並びは順不同となっております

※名刺広告の並びは順不同となっております

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-8-15-905  
tel 022-212-8333 fax 022-212-8334  
hand 090-3644-0920  
e-mail ky\_fudosan@nifty.com

代表取締役 **山本 琴枝**  
宅地建物取引士  
空き家相談士

**有限会社ケー・ワイ不動産企画**

**三洋テクニクス株式会社**

環境維持機械・建設機械・物流機械 整備・販売・リース

代表取締役社長 **浅野 公隆**  
E-mail:kimitaka.asano@sanyo-tec.co.jp  
携帯 090-2249-2725

本社工場 〒983-0036 仙台市宮城野区若竹三丁目1-40  
TEL 022-232-6811 FAX 022-231-4630  
TEL 022-290-5291 FAX 022-290-5292

卸工場 〒984-0015 仙台市若林区卸町五丁目1-12  
TEL 022-232-6811 FAX 022-231-4630  
TEL 022-290-5291 FAX 022-290-5292

URL <https://www.sanyo-tec.co.jp>

**星合邦生** [理事長]  
Hoshiai Kunio

**協賛 仙台卸商センター**

〒984-0015 仙台市若林区卸町三丁目1番地の2  
卸町コミュニティプラザ「ほるせ」階  
Tel:022-235-2161/Fax:022-284-0864

富士塗料興業(株)  
代表取締役  
Tel:022-232-0221

永いおつきあいのできる  
地元呉服専門店 **奥江**

代表取締役社長  
**佐藤 隆俊**

株式会社 奥江呉服店  
〒984-0073 仙台市若林区荒町75  
TEL022-223-3374 FAX022-227-4679  
E-mail:okue@s6.dion.ne.jp

株式会社 **フタバタクシー**  
介護保険事業所番号 0475200481号

代表取締役 **及川 孝**  
(地域公共交通東北仕事人)

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-3-18  
TEL.022-236-9361  
FAX.022-236-9373  
E-mail: futaba-taxi@aurora.ocn.ne.jp  
URL: <https://www.futabataxi.com>

**柏葉会計事務所**

税理士  
**柏葉 佳一郎**

〒983-0046 仙台市宮城野区西宮城野10番28号  
TEL:022-257-0204 FAX:022-299-1826  
E-mail:kashiwabakaikai@tkcnf.or.jp

代表取締役社長  
**齋藤 裕子**  
Hiroko Saito

090-8259-2916  
hiroko\_s@saicolto.co.jp

**齋藤コロタイプ印刷**  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-7-10  
Tel:022-222-5481 Fax:022-222-5416

**Yurtec**

常務執行役員  
総務部長  
**伊藤 英一**

株式会社コアテック  
仙台市宮城野区福岡4-1-1 〒983-8622  
TEL022-296-2111 FAX022-296-2121 携帯080-5832-4112  
E-mail: ito.eiichi.k12@yurtec.co.jp

株式会社 **堀越**

代表取締役 **堀越 良克**  
一級建築士

〒983-0013 仙台市宮城野区中野3丁目5-22  
TEL 022-258-6768 FAX 022-258-8595  
<http://www.horikoshi.info/>  
E-mail:yoshikatu@horikoshi.info

**HTT 養本 本田土地建物**

代表取締役 **本田 恭一**

〒980-0013 仙台市青葉区花京院1丁目2-3  
シティタワー花京院 803  
TEL 022-797-2488 FAX 022-797-2489  
e-mail:hondasanti@suite.plala.or.jp

株式会社 **東北ライフサービス**

本社

代表取締役社長 **仲村 好恵**

〒984-0042 仙台市若林区大和町4-23-3  
TEL:022-783-8390 FAX:022-783-8392  
携帯:080-5553-2094  
URL:<http://www.tohoku-life.co.jp>  
E-mail:nakamura@tohoku-life.co.jp  
☎:0120-13-8390

株式会社 **エル・コスモ**

**L-COSMO**

代表取締役 **高原 洋子**

E-mail:tkhr5701@me.com ☎ 022-224-5701  
URL:<http://www.lcosmo.com> FAX 264-8976

代表取締役 **畑中 健作**

株式会社 **アルファ企画**  
〒980-0813 仙台市青葉区米ヶ袋2-1-9 米ヶ袋ハイツ205  
TEL:022-211-7811 FAX:022-211-9805 HP <http://www.alpha-fpplanning.co.jp/>  
k.hatanaka@alpha-fpplanning.co.jp

人と植物の未来のために、快適な農業空間をプロデュース。

代表取締役社長  
**中野 功一**

**興洋グリーンハウス株式会社**  
〒983-0036  
仙台市宮城野区若竹3丁目6番10号  
TEL(022)352-1960 FAX(022)352-1961  
携帯 090-4046-6328  
E-mail:k.nakano@koyogh.co.jp  
<http://koyo-gh.jp/>



大同生命は、「企業保障のエキスパート」として、  
今後も「加入者本位」「堅実経営」という創業時からの基本理念を守り、  
「最高の安心」と「最大の満足」をお届けできる会社であり続けられるよう、  
経営者のみなさまとともに歩んでまいります。

その安心で、  
企業とともに未来をつくる。

さあ、保険の新たな元へ。  
**T&D 保険グループ**

**DJIDO 大同生命保険株式会社** 仙台支社/宮城県仙台市青葉区大町1-1-1(大同生命仙台青葉ビル3F)  
TEL 022-221-5486

**大正興業株式会社**  
タイショーパーキング

取締役社長 **西井 俊正**

本社 〒980-0811  
仙台市青葉区一番町二丁目2番5号  
電話(022)223-2654  
FAX(022)266-4461  
E-Mail nishii@taisho-parking.com

不動産のシンクタンク  
株式会社 **資産管理評価研究所**

専任不動産鑑定士  
所長 **佐藤 紀彦**

〒980-0804 仙台市青葉区大町一丁目1-6 第1青葉ビル(NTT向い)  
TEL/022-265-5383(代) FAX/022-261-0967  
E-mail n\_sato@shisankanri.com  
URL <http://www.shisankanri.com/>

公益社団法人 仙台中法人会経理研究会

会長 佐藤良英

事務局長 〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目三番二十二号  
TEL 022-225-6857  
FAX 022-225-6859

事務部長 〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目三番二十二号  
TEL 022-225-6857  
FAX 022-225-6859

事務次長 〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目三番二十二号  
TEL 022-225-6857  
FAX 022-225-6859

事務主任 〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目三番二十二号  
TEL 022-225-6857  
FAX 022-225-6859

事務係長 〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目三番二十二号  
TEL 022-225-6857  
FAX 022-225-6859

事務員 〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目三番二十二号  
TEL 022-225-6857  
FAX 022-225-6859

代表取締役・プライダルプロデューサー

平賀 ノブ  
NOBU HIRAGA

有限会社 ひらが

〒980-0021  
仙台市青葉区中央2丁目1-15  
TEL (022)222-0158・(022)222-0357  
Eメール hiraga@hiraga-sendai.com  
インターネット http://hiraga-sendai.com  
MOBILE 090-3129-7011

北杜グループ  
株式会社 自然環境産業

代表取締役 庄子正和

本社 〒981-1201 0642 仙台市若林区井土字花地三十三番地  
名取営業所 〒981-1201 0642 仙台市若林区井土字花地三十三番地  
FAX 022-706-1685

※各社広告の並びは順不同となっております

70th SINCE 1956

総合広告会社  
株式会社 日新

代表取締役社長 佐藤 さおり

〒980-0804  
仙台市青葉区大町二丁目六番十四号(日新本社ビル六階)  
電話 022-227-1271・226-1661(大代表)  
ファクシミリ 022-227-1271・226-1661

QRコード

70th SINCE 1956

総合広告会社  
株式会社 日新

代表取締役社長 佐藤 修

〒980-0804  
仙台市青葉区大町二丁目六番十四号(日新本社ビル六階)  
電話 022-227-1271・226-1661(大代表)  
ファクシミリ 022-227-1271・226-1661

QRコード

代表取締役会長  
中兼一  
TANAKA ZEN-ICHI

創業慶長元年 株式会社 中兼一

本社: 〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目12-40  
TEL 022-225-6857(代)  
FAX 022-225-6859

本部: 〒984-0015 仙台市若林区御町三丁目1-19  
TEL 022-284-1641(代)  
FAX 022-284-1646  
https://tazen.co.jp  
e-mail zen1126@tazen.co.jp  
携帯 090-8177-1641

代表取締役 税理士  
深田 裕志

株式会社 深田会計マネジメンツ

〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目1番31号  
山口ビル2F  
電話 (022) 227-1292 (代) FAX (022) 221-3319  
E-mail fukada-hiroshi@tkcnf.or.jp  
URL http://homepage1.nifty.com/fukadakaikai/

代表社員 税理士  
深田 一弥

税理士法人 深田会計

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-1-31山口ビル2F  
TEL 022-227-1292 (代) FAX 022-221-3319  
URL http://fukada-kaikai.com  
E-mail fukada-kaikai@tkcnf.or.jp

一般建築設計・施工  
有限会社 小林工務店

代表取締役  
小林 長人

〒984-0826  
仙台市若林区若林1-11-5  
TEL 022-22886-5520  
FAX 022-22886-5210  
携帯 090-4476-6806  
E-mail kobayashi@kobeikogyo.co.jp

電通システム株式会社

代表取締役  
内村 愛

本社 〒984-0042 仙台市若林区大和町五丁目十一番三二号  
TEL 022-241-4026 FAX 022-238-1701  
宮城県多賀城市明月一丁目八番三六号  
TEL 023-671-6211 FAX 023-671-6218

Since 1998  
Office OA

Japan Wood Laboratory®  
SDGs 国産材を活用した「組立式木質ブース」製品

New 新商品  
置き型授乳室  
おむつ台

OfficeOA Co.,Ltd. Group  
ウッドラボ事業部

有限会社 オフィスオーエー  
〒983-0852  
宮城県仙台市宮城野区榴岡四丁目3-20 1F  
TEL: 022-298-3360 FAX: 022-298-6630  
担当: 森須野 Mobile: 090-8254-9057  
E-mail: woodlab@ooa.co.jp

代表取締役社長 渡邊 和幸

渡幸株式会社

本社 〒984-0022 仙台市若林区五橋三丁目五-1404  
電話 (022) 266-1145  
FAX (022) 264-1106

賃貸不動産経営管理士

りらく  
仙台県・文化が息づく大人の情報誌  
日本経済新聞 日経MJ  
【総合窓口】

CEO 会長  
松本 辰三  
matsumoto@p-office.co.jp

株式会社 プランニング・オフィス社  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-22  
TEL 022-266-9453(代) FAX 022-266-9418  
https://www.p-office.co.jp  
https://www.riraku-sendai.co.jp  
●出版 ●広告 ●プロモーション

税理士 畠田卓也

畠田卓也税理士事務所

〒980-0011  
仙台市青葉区上杉一丁目10番21号  
TEL 022-220-4222  
FAX 022-220-4222  
携帯 090-4476-6806

経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る!

Business Guard

AIG損害保険株式会社 仙台支店  
TEL. 022-726-7661 9:00-17:00 (土日祝日除く)

政府労災の上乗せ補償  
ハイパー任意労災  
(業務災害総合保険)

法人会のBCP保険  
地震休業サポート 地体力  
企業財産保険(ニュープロテクトガード)  
事業継続サポート補償特約N+地震・噴火・危険補償特約  
(事業継続サポート補償特約用N)

企業向け第三者賠償責任保険  
オールスターズ  
ALL STARS  
(事業賠償・費用総合保険)

個人情報の漏えい事故対策  
情報漏えいガード  
(個人情報漏洩保険)

25-073011(ART)



公益社団法人東北障がい者芸術支援機構 主催  
 「Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SENDAI 2024」  
 でん六賞

作品タイトル 「ちいさな火のロウソクとマッチ棒の見習いたち」

chichi 作 (宮城県)

〈創作状況〉  
 中央に集まっている赤い頭の子たちは「マッチ棒の見習い」です。  
 まわりにはとっても小さな火をつけたロウソクも描きました。  
 下描きはとくにせずその時その時でぬりたい色や模様をのせていき完成した絵です。

※この冊子の掲載内容は同一ではありません

第一営業課長  
 事業承継アドバイザー  
 健康経営アドバイザー

ヒガシ ユウ ジ  
**東 祐 司**

大同生命保険株式会社 仙台支社  
 仙台市青葉区大町1-1-1 〒980-0804  
 TEL:022-221-5486(代) FAX:022-217-1334  
 E-mail:higashi.yuji@daido-life.co.jp

ご契約の照会はコールセンターへ：0120-789-501

さあ、保険の新たな元へ。  
**T&D 保険グループ**  
 この冊子は掲載に同意した者を使用しています。

支社長

井手 啓 典

大同生命保険株式会社 仙台支社  
 仙台市青葉区大町1-1-1 〒980-0804  
 TEL:022-221-5486(代) FAX:022-217-1334  
 E-mail:ide.keisuke@daido-life.co.jp

ご契約の照会・各種手続は本社コールセンターへ：0120-789-501(通話料無料)

さあ、保険の新たな元へ。  
**T&D 保険グループ**

松山 俊 樹

北海道・東北地域事業本部  
 仙台支店 支店長

AIG損害保険株式会社  
 宮城県仙台市青葉区一番町1-8-3  
 AIG仙台ビル6F 〒980-0811  
 Tel 022-221-2532 (代表)  
 Fax 022-215-5364  
 matsuyama.toshiki@aig.co.jp  
 www.aig.co.jp/sonpo

健康経営優良法人  
 2025  
 KEMO Investment for Health  
 EXCELLENCE

相田 彩子

北海道・東北地域事業本部  
 事業本部長

AIG損害保険株式会社  
 宮城県仙台市青葉区一番町1-8-3  
 A I G仙台ビル 〒980-0811  
 Tel 022-221-2540 Fax 022-221-2546  
 aida.ayako@aig.co.jp

健康経営優良法人  
 2025  
 KEMO Investment for Health  
 EXCELLENCE

「生きる」を創る。  
**Aflac** 仙台総合支社

総合支社長 **伊 吹 恒 平**

アフラック生命保険株式会社  
 〒980-6122 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエル22F  
 TEL:022-262-5610 FAX:022-262-5822  
 E-mail: ibuki.k@aflac.co.jp  
 当社保険に関するお問い合わせ：0120-5555-95  
 ホームページ <https://www.aflac.co.jp/>

田中 修

仙台支店  
 営業第一課 課長  
 北海道・東北エリア ICA Supervisor

AIG損害保険株式会社  
 宮城県仙台市青葉区一番町1-8-3  
 A I G仙台ビル 〒980-0811  
 Tel 022-726-7661 Fax 022-213-4755  
 携帯 070-3100-2172  
 tanaka.osamu.aui@aig.co.jp

健康経営優良法人  
 2025  
 KEMO Investment for Health  
 EXCELLENCE

「生きる」を創る。  
**Aflac** 仙台総合支社

支社次長 **土 赤 耕 陽**

アフラック生命保険株式会社  
 〒980-6122 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエル22階  
 TEL:022-262-5610 FAX:022-262-5822  
 携帯:070-4272-0677  
 E-mail: tsuchiaka.k@aflac.co.jp  
 当社保険に関するお問い合わせ：0120-5555-95  
 ホームページ <https://www.aflac.co.jp/>

DIVERSITY 100 2015

健康経営優良法人  
 2025  
 KEMO Investment for Health  
 ホワイト500

アフラックは、1983年より  
 「法人会福利厚生制度」を受託しています。

法人会がん保険制度  
 法人会医療保険制度

「生きる」を創る。  
**Aflac**

〈引受保険会社〉 **アフラック** 仙台総合支社 法人会フリーダイヤル ☎ **0120-876-505**  
 ※今後の対応は担当の募集代理店が行います。



私たち JAC は、  
公益社団法人 仙台中法人会の  
**エコキャップ回収活動** に協力しています。

カケルくん



株式会社 ジェーエーシー

廃棄物を資源へ。JAC がつなぐ明日の環境

廃棄物処理・リサイクル

接続可能な処理と再資源化に取り組んでいます。  
安心の実績を誇る私たちにお任せください。

建物の解体 / 設備撤去

宮城県を中心に、全国各地で各種解体工事を承っております。

収集運搬

収集運搬の許可を1都9県有し、豊富な経験に基づく効率的な配車システムにより、安全かつスピーディーな回収を表現しています。

再生事業 (製造・販売)

プラスチック再生ペレット/RPF/木チップ/RC40/RC80/アスファルト再生骨材など、お気軽にお問い合わせ下さい。

本社・蔵王資源リサイクル工場  
〒989-0841  
宮城県刈田郡蔵王町大字小村崎字山崎 14-1  
TEL : 0224-33-4773 FAX : 0224-33-4771

角田センター  
〒981-1501  
宮城県角田市藤田字風呂 74-3  
TEL : 0224-62-4911 FAX : 0224-62-4907

産業廃棄物中間処理 ▶ 廃プラスチック類 / 金属くず / 木くず / 紙くず / 繊維くず

再生事業 (製造・販売) ▶ ペレット / RPF / 木チップ / 金属

建物の解体 / 設備撤去

産業廃棄物中間処理 ▶ ガラスくず・陶磁器くず・コンクリートくず / がれき類

再生砕石の販売 ▶ RC40/RC80



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAC は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

<https://www.jac-miyagi.com/>